

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 25 年 11 月 12 日

上 場 会 社 名 オイシックス株式会社

上場取引所 東

コ ー ド 番 号 3182

URL http://www.oisix.com

代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 高島 宏平

問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員管理本部本部長 （氏名） 長谷川 哲也 （TEL） 03 (5447) 2688

四半期報告書提出予定日 平成 25 年 11 月 13 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期の業績（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	7,375	7.5	368	19.7	386	23.1	230	19.7
25 年 3 月期第 2 四半期	6,864	—	308	—	313	—	192	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 2 四半期	42.07	36.03
25 年 3 月期第 2 四半期	42.93	—

（注）平成24年10月25日開催の取締役会決議により、平成24年11月12日付で普通株式 1 株を 4 株に株式分割いたしました。
このため、1 株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、これらの株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	5,156	3,124	60.6
25 年 3 月期	4,712	2,838	60.2

（参考）自己資本 26 年 3 月期第 2 四半期 3,124 百万円 25 年 3 月期 2,838 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26 年 3 月期	—	0.00	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の業績予想（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	16,351	12.2	827	12.8	833	13.7	500	47.5	91.44

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	5,639,700株	25年3月期	5,468,200株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	—株	25年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	5,481,826株	25年3月期2Q	4,487,243株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第 2 四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀による積極的な金融緩和の継続や、7月の参院選後の政権基盤安定化を背景に、個人消費に明るい兆しが見られるなど、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、米国での量的緩和の解除観測、新興国経済の成長率鈍化、欧州経済の回復遅れなどもあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、原子力発電所事故に伴う食品の放射能汚染問題を受けた食の安心・安全に関する消費者の意識は、一時期よりは鎮静化傾向にあるものの、引き続き高い状況にあります。

E C業界を巡る動きとしては、大手E C事業者や大手流通企業が相次いでいわゆるネット・スーパー事業強化の方針を打ち出すなど、食品E Cの将来性によりいっそう注目が集まっております。また、スマートフォンやタブレット型端末の本格普及により、E Cを取り巻く環境も刻々と変化しております。

このような環境を背景に、当社では成長市場である食品E C市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、SEO（Search Engine Optimization 検索エンジン最適化）やSEM（Search Engine Marketing 検索エンジンマーケティング）の強化や、実店舗やイベントでの露出を図ることにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に努めました。

また、高付加価値ブランド食品の取り扱いの拡大や、単品定期購入サービスの強化等により、購入単価の向上に取り組むほか、スマートフォン対応の強化など、お客様により便利にお買い物していただくためのサービス改善にも取り組んでまいりました。

併せて、海老名配送センターを中心に業務効率・コスト効率の改善を図るなど収益基盤強化に努めるとともに、店舗宅配事業（乳販店等を通じた通販事業）からの撤退を決定するなど、経営資源の最適配分に向けた施策を推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,375,938千円（前年同期比7.5%増）となりました。利益面では、営業利益は368,896千円（前年同期比19.7%増）、経常利益は386,091千円（前年同期比23.1%増）、四半期純利益は230,604千円（前年同期比19.7%増）となりました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

〔E C事業〕

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うE C事業においては、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成25年3月末）の73,865人から、当第2四半期会計期間末（平成25年9月末）には75,816人へ増加いたしました。

また、お客様の購入単価向上のための取り組みとして、平成25年1月より開始した高付加価値ブランド食品を当社サイト「oisix.com」にて取り扱うサービスを、平成25年5月より新サービス「Oiチカgourmet」として本格的に開始いたしました。平成25年9月末現在「Oiチカgourmet」は全12ブランドに拡大しております。

この他、平成25年7月からは、ワーキング・マザーなど忙しい女性の方々に、安心・安全な献立が20分で完成する献立キット「KitOisix」の提供を本格的に展開し、更なる定期購入会員数拡大のための重点施策として注力しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるE C事業の売上高は6,688,100千円（前年同期比5.3%増）となりました。

〔その他事業〕

その他事業においては、恵比寿店・二子玉川店の2店舗にて展開している実店舗での売上高が堅調に推移したほか、「Shop in Shop」として平成24年9月より開始した東急ストアの店内におけるOisix専用コーナーの設置も、平成25年9月末現在で6店舗まで拡大いたしました。

また、平成25年5月に株式会社三越伊勢丹ホールディングスと基本合意書を締結した、同社グループが手掛ける会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」との連携（主に当社による物流サービス等の受託）を11月より開始するに当たり、同社グループ向けのシステム等を開発・納品したことにより、当該開発業務に関連した売上高をその他事業の売上高として計上いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるその他事業の売上高は687,837千円（前年同期比34.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して444,539千円増加し、5,156,918千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ413,496千円増加し、4,101,276千円となりました。これは主に現金及び預金の増加285,062千円、売掛金の増加28,450千円、商品及び製品の増加24,579千円、未収入金の増加36,846千円、その他の増加46,654千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ31,042千円増加し、1,055,641千円となりました。これは、有形固定資産の減少15,449千円、無形固定資産の減少14,763千円、投資その他の資産の増加61,256千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して158,444千円増加し、2,032,587千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ154,777千円増加し、1,942,475千円となりました。これは主に未払金の増加43,792千円、未払法人税等の増加93,473千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3,667千円増加し、90,112千円となりました。これは、資産除去債務の増加1,264千円とその他の増加2,403千円によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度と比較して286,094千円増加し、3,124,330千円となりました。これは、資本金の増加27,793千円、資本剰余金の増加27,696千円、四半期純利益230,604千円の計上によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より285,062千円増加し、2,244,199千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、340,001千円（前年同期は78,287千円の収入）となりました。これは主に税引前四半期純利益386,091千円、減価償却費60,917千円、売上債権の増加額28,450千円、未収入金の増加額36,846千円、たな卸資産の増加額24,498千円、未払金の増加額50,211千円、法人税等の支払額79,172千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、109,517千円（前年同期は376,877千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出31,393千円、投資有価証券の取得による支出73,500千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、54,431千円（前年同期は298,071千円の収入）となりました。これは株式の発行による収入55,313千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出881千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日付「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました平成26年3月期通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年 9 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,136	2,244,199
売掛金	1,323,495	1,351,946
商品及び製品	188,807	213,387
原材料及び貯蔵品	3,888	3,808
未収入金	161,658	198,504
その他	100,428	147,082
貸倒引当金	△49,636	△57,652
流動資産合計	3,687,779	4,101,276
固定資産		
有形固定資産	544,506	529,057
無形固定資産	318,446	303,683
投資その他の資産	161,644	222,901
固定資産合計	1,024,598	1,055,641
資産合計	4,712,378	5,156,918
負債の部		
流動負債		
買掛金	885,029	882,087
未払金	517,913	561,705
未払法人税等	87,897	181,370
ポイント引当金	110,884	123,195
その他	185,973	194,115
流動負債合計	1,787,697	1,942,475
固定負債		
資産除去債務	46,190	47,454
その他	40,253	42,657
固定負債合計	86,444	90,112
負債合計	1,874,142	2,032,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	808,260	836,053
資本剰余金	563,160	590,856
利益剰余金	1,466,815	1,697,420
株主資本合計	2,838,235	3,124,330
純資産合計	2,838,235	3,124,330
負債純資産合計	4,712,378	5,156,918

（2）四半期損益計算書
（第 2 四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第 2 四半期累計期間 （自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日）	当第 2 四半期累計期間 （自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日）
売上高	6,864,458	7,375,938
売上原価	3,519,039	3,809,514
売上総利益	3,345,419	3,566,424
販売費及び一般管理費	3,037,293	3,197,528
営業利益	308,125	368,896
営業外収益		
受取補償金	5,257	9,855
その他	5,401	7,616
営業外収益合計	10,659	17,472
営業外費用		
株式公開費用	3,800	—
株式交付費	1,050	176
その他	329	100
営業外費用合計	5,179	277
経常利益	313,605	386,091
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	42,670	—
その他	7,500	—
特別損失合計	50,170	—
税引前四半期純利益	263,435	386,091
法人税、住民税及び事業税	57,005	173,750
法人税等調整額	13,809	△18,263
法人税等合計	70,815	155,486
四半期純利益	192,619	230,604

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第 2 四半期累計期間 （自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日）	当第 2 四半期累計期間 （自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	263,435	386,091
減価償却費	45,001	60,917
のれん償却額	12,236	12,236
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	42,670	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,004	8,015
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,000	—
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△7,603	12,310
受取利息及び受取配当金	△97	△192
支払利息	33	26
株式交付費	1,050	176
為替差損益（△は益）	219	△146
売上債権の増減額（△は増加）	80,042	△28,450
たな卸資産の増減額（△は増加）	△27,512	△24,498
未収入金の増減額（△は増加）	△93,441	△36,846
仕入債務の増減額（△は減少）	△60,812	△2,942
未払金の増減額（△は減少）	96,014	50,211
未払消費税等の増減額（△は減少）	△41,851	19,306
その他	86	△37,171
小計	293,466	419,044
利息及び配当金の受取額	82	156
利息の支払額	△33	△26
法人税等の支払額	△215,227	△79,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,287	340,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△291,850	△17,192
無形固定資産の取得による支出	△53,586	△31,393
投資有価証券の取得による支出	—	△73,500
貸付金の回収による収入	190	177
敷金及び保証金の差入による支出	△31,850	△806
敷金及び保証金の回収による収入	220	13,197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,877	△109,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△878	△881
株式の発行による収入	298,950	55,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	298,071	54,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	△219	146
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△737	285,062
現金及び現金同等物の期首残高	828,708	1,959,136
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	59,862	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	887,833	2,244,199

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期累計期間（自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う E C 事業とその他事業から構成されておりますが、E C 事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、E C 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

II 当第 2 四半期累計期間（自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う E C 事業とその他事業から構成されておりますが、E C 事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、E C 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。